



平成24年5月21日
掃水まちづくり協議会
71号

環境美化部
部長 控井昇

～市政バスで行く～
**ごみ処理施設
見学ツアー☆に
行って来ました!**

環境美化部・教育文化部

5月8日は先日ま
でのにわか雨や雷も
なく、天候に恵まれ
た中で無事に3つの処理施設の
見学ができました。

平日にもかかわらず参加して
いただきました皆様にお礼申
しあげます。そして少しでもご
み問題について感心を持って
いただき、日常の問題解決のお役
にたてば幸いです。

さて今回のごみ処理施設見学
ツアーで特に感じたことを、次
の3つにまとめてみました。
まず一つ目は、「百聞は一見に
如かず」です。

私たちが出したごみが、処理
施設で実際どのように扱われて
いるかを我が目で見て、さら
に分別して出したごみの中に
「これ、資源ごみの中に入っ
ていた資源ごみ以外のもので
す」と触って見られるように
出してもらうことで、分別す
ることの難しさを痛感しまし
た。

正しく分別できればよいこ
とですが、こと細かくしてい
くと「何でもこまごま...」
「めんどくさい」となって、
せっかくなされてきた家庭での

分別が継続できなくなってしまう
松阪市の担当課の方も
「燃えるごみとして処分される
よりは、資源ごみとして回収し
て、可能な限りリサイクルした
い」との思いがあり、できる限
り多くの燃えるごみを資源ごみ
として皆さんに出してもらいた
いとのこと。そして集めた資源
ごみを、処理施設内でさらに人
の手作業で、もういちど分別し
ているところを見せてもらいま
した。

皆様には、分別がよくわから
なくても「最低限きれいにし
て資源ごみとして出す」というこ
とでご協力いただきたいと思
います。ごみ処理施設で分別す
るときに、たとえば醤油やジュ
ースが残ったままですと、中身が
飛び出して他のきれいな資源と
なる物を汚してしまいます。

二番目には「順番が大事」です。
今までごみの分別のしかた、
出し方を中心に活動してきました
が、今回説明いただいた「3
Rの順番が大事」ということ
です。

まず一番目に余分なものは買
わないようにして「ごみに出す
ものを減らす」、2番目に譲った
りフリーマーケットなどの活用
で「繰り返し使う」、そして最
後に資源ごみとして出して「再
生利用する」という順番がある

ことです。
今までを振り返ってみると、
3番目だけを注目して見ていた
ように思います。



今回参加された32名の皆さん

最後の三番目は、「つながり」
です。

今回のツアーの第一番目に行
った最終処分場でちようど焼却
灰が運ばれてきました。そのと
きは灰が埋め立てられることを
聞いたのですが、二番目に行っ
た第二清掃工場で、今日は2号
焼却炉の灰を最終処分場に送っ
たと聞いて、アツさつき運ん
できた灰、あれがそうかと思
い返りました。

また、見学当日は火曜日
昨日が掃水地区の燃えるごみの収

集日でしたので、焼却炉を見学
中に「奥さんが昨日出したご
み、ちようど今燃えてますよ」
と言われると、燃えるごみを出
してから、灰となって埋め立
てられる流れを実感することが
できました。

第一清掃工場では集められた
資源ごみが人の手で再分別され
ここで終わるのではなく、資源
の種類別に処理業者に売られて
さらに再生業者に送られた後の
再生品を見せていただき、私
たちは再生された製品を日常で
気がつかずに使っていることが
わかりました。

見てきたことをもつと
お伝えしたいことがあります
紙面には限りがあります。各
地区で勉強会や見学をしたい、
ごみの回収方法を改善したい
ということがありましたら、ま
ちづくり協議会にご相談くだ
さい。皆様の活動のお手伝い
をさせていただきます。

最後に、平成23年度のご
み量は減少しています。この
ことは焼却施設や最終処分
場の延命にも貢献できてい
ます。しかしまだほとんどの
ごみが燃やされています。皆
様には、無理をしないで、で
きるだけごみの減量、資源
ごみとしての回収に取り組ん
でいただければ幸いです。

6月の行事予定

さつまいも苗植え 6月2日(土) 受付13時より 集合場所 清水町農協倉庫前
文化祭芸能発表会 6月10日(日) 9時より 場所 JA松阪本店3階
自主防犯パトロール隊6周年記念式 6月11日(月) 8時50分より 場所 第三銀行掃水支店駐車場
親子ソフトバレーボール大会 6月17日(日) 8時30分より 場所 掃水小学校体育館
第1回老人会グラウンドゴルフ大会 6月23日(土) 8時 試合開始 場所 掃水小学校運動場

子どもを守る家

掬水小学校長

富内 修身



近年、子どもたちの環境は、

交通事故、呼びかけ連れ去りと、子どもたちが安心して暮らせる環境とは言いがたくなってきています。学校も、子どもたちの命を守るため、防災避難訓練・不審者対応訓練などを実施し、緊急時の対応について話し合っておりま。しかしながら、登下校においては、隅々まで目が行き届かないことが事実です。

そこで、数年前から地域の方のお力をお借りして、「子どもを守る家」の指定をお願いしております。登下校の子どもたちの安心・安全を守るためよろしく願います。また、地域の方々にも、犬の散歩やお買い物の際に温かいまなざしをかけていただければ幸いです。

現在、全地域にわたり18件の方々に「子どもを守る家」をお願いしています。地域全体で子どもたちを見守りましょう！



自主防犯パトロール隊

6周年記念式

開催日 6月11日(月)

午前8時50分

午前9時30分

場所 第三銀行榊田支店

駐車場

※ 雨天時は榊田地区

市民センターにて

皆さんのご協力のおかげで、『掬水自主防犯パトロール隊』も六周年を迎えることができました。当日は松阪市長をお招きし、掬水幼稚園児たちも参加します。地域の方もぜひ見に来てください。

《 お知らせ 》

松阪市水防訓練が実施されます

ヘリコプターによる救助訓練、土のうなどによる各種水防工法、災害復旧仮設などの訓練を実施します。ぜひ一度見学してみてください。

日時： 6月17日(日) 雨天決行
午前8時30分～12時

場所： 榊田橋上流 200m右岸河川敷

担当課： 松阪市建設部維持監理課

Tel.53-4412



「まちづくり将来計画作成委員会」を設置します！

あなたもまちづくりの計画作成に参加しませんか？多くの皆様のご意見をもとに、将来どんなまちにしたかを考えることになりました。年齢などの制限はありません。気軽にご参加ください。

* お申し込みは
掬水まちづくり協議会(榊田地区市民センター内)
Tel. 28-2675 まで

「郷土文化歴史研究プロジェクト」を設置します！

このまちのすばらしい文化を知っていますか？歴史文化の調査や探訪、郷土史編集などを計画しています。興味のある方は是非ご参加ください。

* お申し込みは
掬水まちづくり協議会(榊田地区市民センター内)
Tel. 28-2675 まで

《いよいよ土佐の国高知市街に入る。》

歩いて来た、その距離四〇〇キロ全行程の四分の一にもならない。いやもう四〇〇キロ歩いて来たのか。丁度松阪から名古屋まで二往復したのだ。国民宿舎海風荘を出発して十二キロ、二十八番の大日寺。二十九番国分寺まで九キロ。お参り終つてそろそろ足にガタが来そう。前々から教えてもらっていた善根宿なる宿に初めて泊めて頂くことにした。この宿のことを話では聞いていたが、泊つてあこれ善根宿か、その全てが驚きの体験。国分寺を出て五キロ、丸和石材さんの善根宿である。泊る部屋はほとんど民宿と変わらない。食事も夕食、朝食二食ついてる。風呂もある。洗濯も出来る。朝出発の時宿泊料をと言った。言葉が返つて来た。皆様はお大師様の変身です。お遍路様には全てお接待を致し

「四国八十八ヶ所霊場 歩き遍路」物語(十七)

豊原町 岩塚章

しております。お代は頂きません。道中合掌の気持ちでお元気で遍路旅を続けて下さい。お祈りしています。

こんな言葉が返つて来た。これが善根宿の全てかと知った。三重県で松阪でこんな一夜を提供して下さる所であるでしょう。いや無い。宿を出る時自然と合掌、そしてこの老いの身、目から涙がぼろぼろと流れた。あゝこの辛い遍路旅、この旅に出たから本当のひととの心を知った。すばらしい人生の宝を持たせて下さった。これから伊勢に帰つてもこの万分の一のことが出来るだろうか。杖をつくその手に、その足に爽やかな血液が流れているように思えた。

いろんな体験を一日一日積み重ねての遍路旅。いよいよ高知市街三十番の善楽寺にお参りして市内で四ヶ寺をお参りする前に高知はりまや橋を通つてみたことになった。高知市には市電が通っている。色とりどり、型さまざまの電車が走っている。"そうだ昔々鉄道に勤めていたっけ"